

平成 27 年度 第 1 回花巻市文化財保護審議会

日時：平成 27 年 5 月 18 日(月) 午後 4 時～5 時

会場：花巻市役所 石鳥谷総合支所 3 階 3 - 2・3 - 3 議室

----- 次 第 -----

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 協議
(1) 平成 27 年度文化財関係事業計画について
- 5 その他
- 6 閉 会

会議の内容（概要）は、以下の通り。

- ・ 会議に先立ち、新任職員、人事異動職員等について、自己紹介あり。
文化財課：菊池賢（きくちさとし）上席主任
市博物館：因幡敬宏（いなばたかひろ）学芸調査員
（大槌町出身、東北芸術工科大出身）
文化財課：村田豊隆（むらたとよたか）埋蔵文化財係長
- ・ 委員 11 名中 8 名出席
（花巻市文化財保護審議会条例第四条第二項により会議は成立。）
- ・ 配布資料確認

1 開 会 15：55 進行：酒井補佐

2 教育長あいさつ（概要）

日頃より花巻市の文化財保護行政にご指導ご協力いただきまして、ありがとうございます。現在、岩手日報に高橋館長の花巻人形の記事掲載があり、博物館への問い合わせや入館者が増えているようで、改めて花巻人形への関心、しいては歴史や芸術文化、自然に対する興味関心が高まっているのを実感しています。また、小学生等への体験学習、博物館での体験学

習が盛況であることから、次代を担う子供たちへ保護者とともに歴史や文化、自然等を学ぶ機会を提供することの必要性、関係機関の連携が大切であることを感じています。

これからも花巻市の文化財保護行政にご指導ご協力賜りますようお願い申しあげ、挨拶といたします。

3 会長あいさつ

参集いただきありがとうございます。今年第一回目の審議会となり、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

個人的な要望としては、新市合併して10年経過していることから、改めて市内の文化財、指定・未指定にかかわらずその現状を再確認（調査）していく必要もあるのではないかと考えています。（特に絵馬や古道など）

4 協議 進行：菊池会長

(1) 平成27年度文化財関係事業計画について

事務局から説明

千葉課長：資料1「平成27年度文化財課重点施策について」

資料3「新規指定文化財について」

大内係長：資料2「平成27年度文化財課主要事業計画（一般文化財）」

村田係長：資料2「平成27年度文化財課主要事業計画（埋蔵文化財）」

質疑

木村委員：文化財を活用することについて。市民が自発的に文化財保護の活動を行うNPO活動について補助金が補助されることがある。市が主体となっていくには難しい部分が多いと思われるため、活動を誘発するようなPRをするなど、市民が自発的に文化財保護活動していくような啓蒙活動を行っていくことも必要ではないだろうか。

菊池会長：貴重な意見である。

中村委員：市指定文化財の修理費補助金について。国指定、県指定の文化財には市から出せる修理費補助金がない。市側からも出せるように要綱を改定する必要があると思う。ぜひ検討していただきたい。東和の「まいりの仏」の展示ケースのガラスの破損や、丹内山神社の仏像の修理等に補助していければ、修理が進むのではないかと考える。

菊池会長：松林寺の関係資料が、所有者が病気（高齢化）で管理できないでいる。かろうじて親戚の方が現在管理対応しているが、これからのことを考えると何らかの対策をとらないと保護管理されなくなる可能性があるため、心配している。

千葉課長：今後検討したいと思う。

中村委員：県指定、国指定となるとかなり貴重になるため修理に費用負担が多くなるので、少なくとも市から補助が出れば、修理に向けて所有者管理

者の気持ちが前向きになると思うので、検討してほしい。

大森委員：丹内山神社の裏山にある大花崗岩地帯について、保護してもらえようなか検討されているか。調査される予定はあるのか。

千葉課長：この件については、まだなにも動き出していない。専門の先生（地質の照井先生？）と相談させていただいて検討したい。

大森委員：ぜひお願いしたい。

大森委員：数年前まで（根子社会教育指導員と一緒に行って）、旧町の湿性・ため池等の植物調査を行って報告書に掲載していたが、その事業の残り（東和町、大迫町方面）を調査したいと思うので、文化財課から協力いただきたい。

千葉課長：今後、大森先生と相談させていただきたい。

大森委員：東和町はわかりにくい場所が多いので、ぜひ調査に協力してほしい。

大森委員：ハナショウブの件。花巻市内には、西宮野目以外にも過去に自生地（草井山・湯口方面）があったが、戦後に開拓されて消滅してしまったところがある。このような場所は一度失われると再生できないので、西宮野目のハナショウブは消滅しないように大切に保護していただきたい。

千葉課長：ハナショウブ指定地とその周辺については、昨年度までに指定地を囲む柵を設置し、不要な樹木の伐採作業等の環境整備、地元の保存会での環境整備等、さまざま環境整備に努めているところである。

また、前回話があった指定地内の鯉の生息については、少し調べてみたが、大きな生物（魚）は生息していないようだ。

さらに、宮野目小学校において、圃場から採取したハナショウブの種まきを実施して成長観察をしてもらっている。

大森委員：指定地の周辺に生息する外来植物等については、特にドロの木等の他の植物の生育環境へ悪影響を及ぼす植物の駆除を行ってほしい。

酒井補佐：環境整備時に伐採している。

中村委員：大森先生には、国指定天然記念物の「カズクリ自生地」を見ていただきたい。去年は指定地内の木に実がつかなかった（文化財パトロール）。指定地外の若い木には実がなっていた。原因はわからないので、見ていただきたい。

大森委員：カズクリなど栗の木につく害虫がいるので、これの駆除についても気を配ってほしい。一関市付近まで侵入していると聞いているので、十分気を付けてほしい。

千葉課長：カズクリの害虫については森林組合に聞いてみたが、特に情報はなかった。

大森委員：カズクリのような特殊な樹木は、生命力が弱いので、いっそう手をかけて守ってほしい。

菊池会長：指定文化財の所在確認調査は、今年全部完了させるのか。

千葉課長：スケジュールを立てて調査に当たりたい。

菊池会長：新堀城跡の環境整備とは。

村田係長：遊歩道の草刈りで、年2回実施する予定。

菊池会長：高村光太郎記念館近くの、花巻歴史民俗資料館の案内標識について、取り外す等対応は完了したか。

千葉課長：まだだが、観光課へ連絡済である。今後対応される予定と思われる。

大森委員：胡四王山の赤松の件。松くい虫で枯れた木を伐採しているのはいいが、伐採した木をその場に積み上げておくのは景観上よろしくないと思われる。移動するなり、処分してほしい。

千葉課長：この件については文化財課が承知していない件なので、関係課に確認したい。

教育長：市所有地分の松くい虫防除は終わっているが、胡四王山のそのほかの部分は私有地が多いので、管理が難しい。この件は観光客からも指摘があり、現在関係課で対応を考えている状況である。

阿部委員：松くい虫枯死木については、動かさない時期があるので仕方ない。

菊池会長：その他ご意見はないか。なければ、(1)平成27年度の事業報告については承認されたものとしてよろしいか。

全委員：異議なし

5 その他

資料の文字訂正について（市内遺跡分布件数の更新訂正）

6 閉 会